

令和4年度 第3回スポーツ推進審議会 議事要旨

日 時	令和5年2月20日（月） 13：30～15：00
場 所	第1委員会室
参 集 者	委 員／中條庸右、齋藤 隆、堀 俊一、齋藤 勉、田中 学、 金子 尚、角南俊介（Web参加）、穂積 祥 欠 席／大滝美樹 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、佐藤教育次長、齋藤課長、 土門主査兼係長、乙坂係長、兵藤指導主事
配布資料	・審議会委員名簿 ・資料1 令和5年度予算（案）について ・資料2-1 令和4年度における取組み状況について（基本目標Ⅰ） ・資料2-2 令和4年度における取組み状況について（基本目標Ⅱ） ・資料2-3 令和4年度における取組み状況について（基本目標Ⅲ） ・資料2-4 令和4年度における取組み状況について（基本目標Ⅳ） ・資料3 令和4年度「酒田市のスポーツの推進に関する市民 アンケート調査」の概要 ・資料4 中学校運動部活動の地域移行に係る現状報告について ・資料5 酒田市体育施設整備懇談会について

1. 開 会（略）

【事務局より会議の成立について報告】

- ・「酒田市スポーツ推進審議会に関する条例」第6条第1項により、審議会は、委員総数の過半数の出席が要件となっている。本日の審議会については、委員総数9名のうち、出席者8名となっており、審議会が成立していることを報告する。

2. あいさつ（教育長）

- ・今年度は色々な会合に行く機会があり、よく「3年ぶりに開催できた。」と聞く。少しずつコロナ前の生活に戻ってきたのかなとうれしく思っている。
- ・今朝の新聞で、アランマーレがファイナルステージ進出決定したのを見た。3月にファイナルステージ、それを勝ち進めば、4月に1部との入れ替え戦があり、年度末から年度初めにかけて酒田が盛り上がると思う。
- ・酒田市スポーツ推進計画も来年度から5年目となり、後半戦に入っていくことに鑑み、ご意見を頂戴したい。

3. 協議（進行：会長）

（1）令和5年度予算（案）について

（資料に基づき、事務局説明）

【委員からの質疑・意見等なし】

（2）「酒田市スポーツ推進計画」について

令和4年度における取組み状況について

I 誰もが楽しめる生涯スポーツについて

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) 「鬼ごっこによる体力向上」は是非継続してほしい活動。身体を動かすきっかけが、大学生との交流の面もあり、「憧れ」がスポーツに目を向ける機会にもなるので(特に今は直接的な人とのかかわりが育みにくい時代でもあるので)地元の学生とのふれあいは効果的だと思う。その一方で、「体力向上」という視点では、日常的に(指導者がいなくとも)子ども達が自分達で遊びにとり入れていけるとよい。
- (委員) 対象の小学校は変わるのか。
⇒2月上旬の市小学校長会で来年度に向けた事業説明をさせていただいた。3月上旬を目途に事業実施の予備希望調査を依頼している。新年度に入ってから本調査を行い、その結果を踏まえ、大学側と調整をして事業実施の対象校を決めていきたいと考えている。
- (委員) 鬼ごっこによる体力向上の部分で東北公益文科大学の学生の協力とあったが、ボランティアの活動なのか。また、大学の単位にもつながるのか。
⇒酒田市としては、東北公益文科大学(共創センター)に事業実施の委託料を支払っており、共創センターからいくらかの謝金(1,200円程度)が大学生へ支払われるという仕組みになっている。学校の単位には関係していない。
- (委員) 前回の会議でも話させていただいたが、「学校側では大変ありがたい事業」という声が多くあった。先日の校長会でも来年度の事業について説明いただいた。校長先生方の反応を見ると、実施を希望してくる学校が多くなると思う。子ども達のアンケートを見せていただくと当然楽しかったというのもあるが、休み時間に他の学年の子と一緒に遊んだという声もあった。小学校でも体力向上に取り組んでいるが、時間内だけでは難しい部分がある。理想としては遊びの中で楽しむことで体力向上に繋がることだと考える。来年度すぐには対応できないと思うので、令和6年度に向けて、来年度の実績も踏まえながら、規模拡大も考えていただければ有難い。
- (委員) ミライニでのニュースポーツ(ボッチャ、モルック)体験会について、図書館は文化とスポーツが一緒にできる施設ということで、今後さらに活動を拡大することを願う。
- (委員) ニュースポーツ体験会の参加状況が分かれば教えていただきたい。
⇒(委員) この事業は子育て世代のスポーツ実施率が低下していることから、図書館へ来た方を対象に事前申し込み不要で実施した事業である。ミライニ内の親子団らんコーナーの場所を借りて、ニュースポーツ(ボッチャ、モルック)体験会を実施している。2歳くらいの子どもも参加してくれて、かなりの人数の親子が参加している状況である。
- (委員) モルック大会の記載箇所に「小学生から80代までさまざまな年代構成の地区・企業等がチームとして参加した。」とあり、幅広い年代でスポーツを楽しむことは今後非常に大事になってくると思う。
- (委員) 十坂小学校でも授業の一環(クラブ活動)でモルックを教えている。先日もスポーツ少年団本部事業の「酒田・遊佐交流大会」でスポーツ推進委員会の協力を得ながらモルックを楽しんだ。

II 感動と活力に満ちた競技スポーツ

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等なし】

Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) 要望として、ぜひ子どもの部の復活を希望する。園でも、大会をきっかけに保護者同士が声掛け合ってマラソンを続け、個人的にも各地の大会に出ている家族、保護者がいる。幼少期に気軽に参加でき、あまり技術を伴わなくとも参加しやすいマラソンは、良い機会だと思う。トップアスリートから市民までが参加できる大会は貴重である。
- (会長) 市民体育祭は3年開催していない。各地区小学校の運動会も昨年度は2地区(南遊佐、広野)のみ種目を絞って午前中のみ実施したと聞いている。3年も休むと気力が失せる。

Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) 国体記念体育館の改修について、その間の大会の実施場所はどうなるのか。大きい大会の場合は、場所・日時を分けて行う場合もあるのか。これまで行ってきた大会に支障は特になのか。
⇒国体記念体育館の改修については、昨春から指定管理者である酒田市スポーツ協会に伝えており、体育館内にも掲示をして利用者へ周知を図っている。全国大会レベルの大会については、早いもの順ではなく、例年11月頃に次年度の大会開催情報を各競技団体から提出いただき、事前にスポーツ振興課で調整をしている。大会開催に支障はあるかと思うが、小中学校の体育館など代替場所を使いながら1年間は我慢してもらう他ない。競技団体に鶴岡市や遊佐町などで大会開催してもらおうよう呼び掛けて対応していただいている。
- (委員) 光ヶ丘球技場の人工芝のメンテナンス業務について3月に実施予定と記載あるが、終期はいつの予定か。
⇒作業自体は掛かって1日または1日半である。積雪や天候状況にもよるが、3月中にメンテナンスを行い、4月当初から本格貸し出しをしたいと考えている。
- (委員) 野球場のバックボードについては、全く手が付けられない状況なのか。
⇒野球場のバックボード(電光掲示板)は、令和4年12月補正で債務負担行為を設定して、令和5年度に改修を進める方向で動いている。機材調達の関係で6か月から8か月掛かる話がある。
- (委員) スポーツ振興を進めるにあたり、施設整備をすることは非常に大事なことだと思う。国体記念体育館の大規模改修工事は、他市町に対しても力強いメッセージになると思っている。

●市民アンケート調査の概要について(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員) オンラインでの回答はパソコンを使用して行うのか。また回答件数は。
⇒酒田市で活用しているkintoneを使ってスマホやパソコンなどから回答を頂いたものである。調査票の鑑文書に二次元コードを掲載し、それを読み込んで回答いただくものである。資料3-1に掲載しているが、オンラインでの回答件数は82件だった。
- (委員) 我々スポーツ推進委員会では、この市民アンケート調査の結果を見て、年齢層を絞った事業(軽スポーツの体験会など)を実施してきた。先週あった山形県スポーツ推進

委員会理事会の中で、来年度の重点目標が提案されたが、酒田市と同じように1,000人を対象にした「成人のスポーツアンケート調査」を実施する内容が盛り込まれていた。できれば、スポーツ振興課とスポーツ推進委員会とタイアップしてアンケート調査を実施させてもらえれば有難い。他市でアンケート調査を実施しているところがないことから、酒田市をモデルにさせてほしいということだった。

○(委員)ブラッシュアップされていて、新しい計画も現れているので非常に良いと思った。

(3) 中学校運動部活動の地域移行に係る現状報告について

(資料に基づき、事務局説明)

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員)3月4日に市スポーツ少年団本部主催の指導者講習会を開催予定だが、その中で聴講者に対して本日同様の現状報告をしていただきたいと考えている。
- (委員)国では少し方針が変わってきたが、酒田市教育委員会で、まず進めていく考えをしっかりと出してもらっているのも、それに沿いながら3年程度かけながら地域との話し合いを重ねながら地域で子ども達を育てるんだという方向に持っていけたらと思っている。土日に開催される大会等への引率など、学校の先生はどうしたら良いか考えている状況である。協会・連盟が主催する大会についても、大会の回数や開催時期、運営方法など色々と考えていかなければならないと思っているのでご承知おき願う。

(4) その他

【委員からの質疑・意見等概要】

- (委員)都市宣言について伺いたい。昨年12月12日に市議会で「本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議」がなされたことを受けて、酒田市でどんな都市宣言をしているのか調べてみた。交通安全、平和、暴力追放というような宣言をしている。全国的に見ても、スポーツ宣言をしている自治体はある。先ほどの教育長のあいさつでもあったが、アランマーレの活躍でスポーツに対する市民の機運が非常に上がっている中、スポーツでまちづくりをしていくこともスポーツ推進計画にも謳っているわけなので、スポーツをしている者としてはスポーツ宣言をしてほしいと思う。
⇒平和都市宣言は、合併前の酒田市のときに議案としてあげて宣言をした。宣言については、酒田市総合計画に謳っているとか、市のスローガンになっているとか色々なパターンがあると思う。
- (委員)市長が年頭のあいさつで「新化」ということで、「新しい価値観を創造し、地域を前に進めたい。」と話していた。市長の思いもあるし、事務局としてもスポーツを通じて市民の元気と勇気を発展させていくんだという思いがあっても良いかと思う。
- (会長)ぜひひとつ検討していただければと思う。

4. その他

- 酒田市スポーツ推進審議会委員の推薦について(事務局説明)

5. 閉 会 (略)

以上